



2024年5月28日 第3479回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：102名 免除出席者2名 正会員出席者50名 出席者52名 早退0名 出席率51.49%

プログラム

点鐘（12：30）／ロータリーソング（第4例会：手に手つないで・R-O-T-A-R-Y）／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：高橋SAA代行〉

会長の時間



2023-24年度

会長 坂口 孝

会長の時間も残すところ後4回。今日、シンガポールにおける国際大会があった。当

クラブより10名程度参加。私自身、立原年度に行ったが、日本では味わえないような盛大な会なのでまだ行ってない方は是非国際大会に一度は参加してみてください。国際大会は元々は決定機関、立法機関という位置づけ。規定審議会というものがあり、国際大会に含まれ立法的な大会になっていた。その後、2年に1度国際大会の前に必ず規定審議会が開催。そこで決まったことを国際大会に上程し、決議を頂くという流れだった。その後、3年に1度になり1970年代後半頃に規定審議会は全く別物になり、来年2025年4月に規定審議会が開催される。様々な変遷を経て国を上げてのお祭りのような形になっているのが現在の国際大会。ガバナーズナイトでは地区の方々が集まって現地でお祭りを楽しみながら会食をするという形になっている。また、過日、久々にロータリーアクト委員会を開催。当ロータリーアクトは日本で最初のロータリーアクト。1968年6月設立し当時の国際商科大学（現東京国際大学）から続いている。元々ロータリーアクトは18歳から30歳を対象とした青少年プ

ログラム。その後は学友会に入るという流れだが当地区の場合は学友会がなく大学を卒業すると終わってしまう。川越RCはスポンサークラブとしての立ち位置だが、今はスポンサークラブがなくともロータリーアクトを作ることができ、現在では我々クラブと同格になってきた。定款、細則も同様であり国際ロータリーでは会員人数をロータリーアクトを含む140万人としている。ロータリーアクトは関東以東に11あるが西高東低の状況。当エリアも頑張っ

ORLI 修了証

坂口孝 1・3、石井成人 1・2・3、小高章 1、島村拓史 1・2・3

OR 財団表彰

ポールハリスフェロー 島村拓史

幹事報告



2023-24年度

幹事 栗原 雄一

- 配布物：会報
- 6/5 家族会について親睦委員会より案内済の屋形船について

席に余裕あるため、是非参加をお願いします。

委員長報告（京野青少年奉仕委員長）



5/25（土）川越ロータリーアクトのメンバー6名と我々5名で炉辺会合を実施。4月からロータリーアクトは東京国際大学人間社会学部3年生が11名（内女子5名）4年生3名に

てスタート。

次週卓話(神谷 勉会員)



西川株式会社のソリューション推進部、日本睡眠科学研究認定スリープマスターで3月のカンブリア宮殿にも出演。プロのアスリートに対する寝具のコンサルティング、眠りと健康の関係等を研究している森下さんに講師として来て頂きます

ニコニコボックス(真鍋隆彦会員)

●本日の卓話担当近藤武弘会員演題「大人の租税教室」宜しくお願い致します。大変楽しみです。<会長、幹事>

●本日、卓話をさせていただきます。頑張りますので宜しくお願い致します。<会長、幹事>

●昨日の株主総会で代表取締役を退任し、相談役になりました。引き続きロータリーにはお世話になりますので宜しくお願いします。これで心置きなく釣りに行く事ができます。<神谷>

●この度オープンしました「りそなコエドテラスのレストラン」アズーリに参りました。先々週メーキャップがありました浦和RCの参加メンバーであり、この店のオーナーでもある北康信氏と再会いたしました。<片山>

●この度、都市対抗野球でNTT 東が一番に予選突破し、本戦出場になりました。私の前任に宅間さんが応援団長なので喜んでおりました！！<丸山>がんばれ！<西澤>

●近藤会員、本日の卓話よろしくお祈りします。

「大人の租税教室」楽しく聞かせて頂きます。<小橋、住谷、真鍋、吉澤、小杉、鈴木(壮)、西澤、高原、西川、中野(文)、藤井、高山、栗林、阿部、福岡、柏倉、久保田、関谷、津田、丸山、高橋(哲)、荻原、蓼沼、石井、水村、馬場(常)、金剛、齊藤(智)、和田(尚)>

●RI 国際大会シンガポールに来ております。26日本会議、ガバナーズナイトに参加致しました。川越RCメンバーは、ミッションの目的を立派に果たし27日夜便で帰国致しました。私はしばらく滞在致しますので今週・来週も欠席致します。<野溝>

●仕事の都合により欠席させていただきます。<和田(喜)> 合計48,000円

卓話(近藤武弘会員)

演題：大人の租税教室



○国民負担率

2021年OECDが36カ国を対象に国民負担率を公表。日本は48.4%で36か国中22位。一方、上昇率という観点

では日本は8%と1位。これが日本の実態であり税負担が大きいと感じる要因の一つと考えられる。18世紀初頭の江戸時代における負担率は28.9%と現状対比20%程度低かった。

○租税/租税の由来

租税法という書物に記載されている定義が一般的。国を運営するために強制的に反対給付なしに個人の富を国に移しているそのもの。「租」「税」とも訓読みで「みつぐ」と読み支配者等が人民から徴収する金品という意味。「租庸調」から由来している漢字であり国が土地を貸して、そこでできた実りを金品という形に変換して収めるという意味合いで租税ができて日本に定着したと解釈できる。

○申告納税制度

自ら申し出て納得して払う税金であると国は考えており「納税」の「納」は「納得」の「納」

○日本国憲法における租税について

国民の福利を確保し日本国憲法が定める基本的人権を保障。基本的人権のために税金を集めて政治家が行使をしていると定義。

○政府の役割

正しい経済活動を自由に行えば世の中は正しく実現するという考え方(国富論)の元、国家の機能を最小限の夜警的な役割に限定すれば税金は最小限で済むが政府の役割(①資源配分②経済格差の是正③経済の安定・成長)によって変わってくる。支払う税金に意義、福利の享受、基本的人権の保障を感じ取れないことが税金を高く感じる要因の一つ。

○税金と寄付

日本人の寄付指数は142カ国中139位と低い特徴あり。アメリカでは寄付の大半(87%)を個人が賄っており主に宗教団体・教育機関・社会福祉団体・財団に配分。寄付額では34兆円と日本の約6倍程度もあり、租税で賄いきれないところを寄付で賄うという文化。こうした観点からも寄付というのは非常に大切なのではないかと感じている。